

空き家が市内に1, 107棟

3月議会の資料に「空き家の調査結果」(自治会長さんの協力で実施)が出されました。この資料には、空き家の定義が書かれていないため近くの自治会長さんに聴きました。空き家の定義は、「1年以上居住していない民間建築物」(この定義が妥当かどうかは議論の余地があります)で、市内1, 107棟あることがわかりました。地域別に見るとどの地域に空き家が多いのか気になるところです。

増える空き家対策は重要な施策

建物の棟数比100棟あたりの空き家の割合を見ると、最も空き家の率が高かった地区(地域)は、城西(西町、西丸など)で7.59、2位が城東(東町、東丸など)の6.75、3位が坂下の5.8、4位が関・南部(福德、久我など)の5.74、5位が北東(北山、北町など)で5.09、6位が本町の4.83、7位が関宿の4.23、8位が野村の4.11となっています。これらの地域は、市全体の空き家率が2.7ですから随分高いといえます。

ただ、空き家でも管理されている建物(所有者が定期的に来たり、敷地の草刈りをしている)と放置された建物があるのでこの数字だけで危険な空き家が多いということではありません。今後も増えると予想される空き家対策はますます重要になっています。

こうきの日誌(3月1日～3月27日) 赤旗の配達、集金活動等は除く

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| 1日 理事者側の聴き取り
亀山九条の会世話人会議 | 17日 訪問活動 |
| 2日 市長と懇談 街頭宣伝、演説 | 18日 白川小学校卒業式 |
| 3日 党市委員会 | 19日 議会報告づくり |
| 4日 訪問活動 | 20日 南野町第一自治会総会 |
| 5、6日 質疑・質問準備 | 21日 予算決算委員会の準備 |
| 7日 本会議(各会派代表質疑) | 22、23日 予算決算委員会 |
| 8日 亀山中学校卒業式 本会議(議案質疑) | 24日 党会議 反対討論づくり |
| 9、10日 本会議(一般質問) | 25日 本会議(開会) |
| 11日 議会改革推進会議検討部会 | 26日 ちびっ子広場の掃除 |
| 12日 憲法カフェ | 27日 議会報告づくり 訪問活動 |
| 13日 相談活動 | |
| 14日 議会報告づくり | |
| 15日 教育民生委員会 | |
| 16日 市議団会議 | |



亀山西小学校で

この議会報告についてのご意見、ご感想をお寄せください

この議会報告は毎月月初めに発行しています 好きです 亀山 住みよい街に

2016年 4月 3日 発行 No. 203

こうきの議会報告

日本共産党亀山市議会議員 服部 孝規

〒519-0156 亀山市南野町6-19-1

ご意見、ご感想は 電話、FAX 0595-82-3646 (FAX番号が変わりました)

E-mail kouki@za.ztv.ne.jp 市議団ホームページ 「共産党 亀山」で検索を

3月議会が終わりました

図書購入費が市長就任当時の半額に

3月議会が終わりましたが、採決直前まで可決か否決かわからない議案が二つありました。可否の結果はそれぞれでしたが、いずれもそれぞれの会派や議員が最後まで考え、悩んだ末に出した結論の総和です。



さて3月議会の予算決算委員会では、市立図書館の図書購入費の減額を取り上げました。前年度より200万円も減額され、平成28年度は600万円の計上です。櫻井市長の就任以降の図書購入費を調べたのが下の表です。市長就任後、最初に予算編成をしたのが平成22年度で、その年は何と1, 200万円

この額は前年(前市長時代)までの800万円から一気に400万円も増額したのです。

マニフェストの「年間図書購入費を2倍に」は？

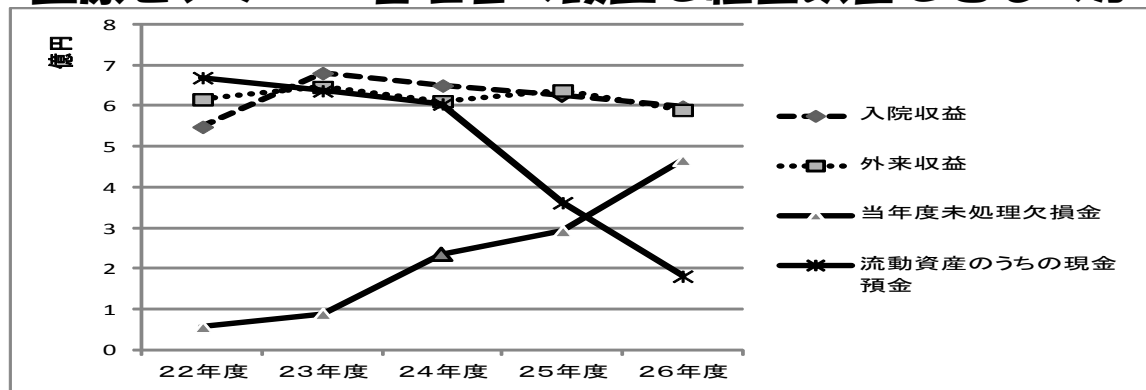
櫻井市長は1期目の市長選にあたって発表したマニフェストに、「図書館・学校における年間図書購入費を2倍にします。」というのを掲げ、左の表の通り、21年度(前市長の予算編成)と22年度を比較すると2倍にはなっていませんが、確かに大幅に増額しています。当時、党議員団は学校図書館への司書配置も含め、この予算を大いに評価しました。

平成・年度	図書館	小、中学校
21年度	800万円	925万円
22年度	1, 200万円	1, 250万円
23年度	1, 000万円	1, 230万円
24年度	800万円	750万円
25～27年度	800万円	700万円
28年度	600万円	700万円

しかし、そこまでの思い入れがあった図書購入費なのに、その後は年々削減し28年度には前市長時代よりも随分、少なくなっています。「マニフェストは絶対守れ」という立場ではありませんが、こんなに簡単に減額できるのかという思いです。

図書館をよく利用する人から「今でも本が少ないのにこれ以上減らすなんて」という声をいただきました。厳しい財政状況だからというのであれば「選択と集中」で財源を確保し、市民にとって必要な予算は確実に確保すべきです。

医療センター 管理者の設置で経営改善できるのか



昨年の12月議会で議論が集中した病院事業への地方公営企業法の全部適用ですが、最大の問題はこれによって厳しい経営が改善されるのかどうかです。3月議会では、この病院事業会計を取り上げ、過去5年間の決算をもとに平成28年度予算を質しました。上のグラフは平成22年度から26年度までの決算における4つの項目の推移です。

“粉飾予算”ともいえる予算の組み方が続いている

まず、入院と外来を合わせた医業収益ですが過去5年間、12億円から14億円で推移しています。ところが28年度予算では、医業収益を17億円近くと見込んでいます。

なぜ決算とかけ離れたこんな予算を組んだのか、考えられるのは医業収益を大きく見積もることで一般会計からの補助金を少なくできるからです(こうした予算の組み方は28年度だけでなく、以前から続いていました)。医業収益も補助金も同じ収益的収入であり、医業収益を大きく見積もれば補助金は少なくて済みます。この5年間、補助金は年々減少し2億円から1億2千万円まで減少しています。つまり、補助金を少なくするために“粉飾予算”ともいえる予算の組み方をしていたのです。

累積赤字の増加と現金預金の減少が続く

こうした予算を組んでも実際に医業収益が入らなければ、どこかにひずみがあります。それを現しているのが上のグラフの当年度未処理欠損金(累積赤字)の大幅な増加であり、現金預金の急激な減少です。土地や建物等の資産があっても日々の経営に欠かせないのが現金です。28年度は有価証券を売却したため、3億円ほど現金が増えますが、経営状況が改善できなければ、5億円ほどの預金で何年持つかわかりません。

市立病院を維持することは市民の切実な願い

4月から病院事業管理者が置かれましたが、こうした医療センターの経営改善が最大の仕事です。何より医業収益を増やすために医師や看護師の確保が欠かせませんし、様々な経営改善が求められます。市立病院を維持することは市民の切実な願いです。

45年も前に計画された道路 和賀白川線の延伸



平成28年度予算に市道と和賀白川線(和賀から野村を横切り国道1号線側道まで完成)の残り区間の延伸工事の予算が計上されました。この道路は、1974(昭和49年)年に都市計画決定されたもので今から45年も前の計画決定です(左の写真は高飛大橋から見た1号線側道)。

たった1日の交通量調査で需要予測 5億円余を使う

今度の北への延伸工事には、平成27、28年度で2,950万円の予算を使い、29年度以降は4億8,500万円の予算を見込み(実際にはもっと多くなると思われる)、合計で5億1,450万円の投資でつくる道路です。3月議会でどれぐらいの需要がある道路なのか質しましたが、1日5千台(上下線)を超えるとのことでした。

しかしこの需要予測は、昨年11月19日に行った午前7時から12時間の交通量調査をもとに出しています。たった1日のしかも12時間の調査だけで24時間の交通量を推計し、5億円を超えるお金を使うことを決めるのはあまりにも危険です。全国でもこうした交通量調査に基づきつくられた道路が、予測よりはるかに少なかったという事例は数多くあります。

市民は幹線道路より生活道路の整備を求めている

市の市民意識調査結果では、「国道等の幹線道路の整備」の満足度は高く、不満は19%程度しかありません。調査結果では、幹線道路より「生活に身近な道路の整備」への不満が多く(24%)、道路の整備をやるのなら生活道路を優先すべきです。

財政が厳しい中で優先すべき事業か

「財政が厳しい」からとわずか200万円の図書購入費を削り、一方でリニア基金には5千万円も積み増しし、この和賀白川線の延伸には5億円を超える予算を組むというのは市民の理解が得られません。事業の優先度、緊急度から見ても納得できません。

新制度の教育長選任同意の議案が9対8で否決

地方教育行政法が改悪され、これまで教育委員会のトップだった教育委員会委員長をなくし、教育長をトップに据える制度に変わりました。

亀山市も3月議会に、この新教育長に伊藤教育長を据える人事案件を提案しましたが、最終日の採決の結果9対8の僅差で否決されました。党議員団は、就任後の伊藤教育長の仕事ぶりの問題点を具体的に指摘しこの議案には反対しました。